

泊村老人ホームむつみ荘広報

アシルとまり

アシルとはアイヌ語で新しいという意味です。

〒045-0202

古宇郡泊村大字茅沼村711番地3
社会福祉法人 黒松内つくし園
泊村老人ホーム むつみ荘
TEL (0135) 65-2255

発行責任者 施設長 高橋 英俊
編集発行 むつみ荘広報委員会

職員募集!! ~老人ホームと一緒に働きませんか?~

むつみ荘では、機能訓練指導員・看護師を募集しております。
施設の事に興味ある方は、是非ご応募ください。一緒に働いてくれる方をお待ちしております。

●勤務時間●

- ・シフト制（パート勤務可）

●資格●

【機能訓練指導員（特養）】

- ・作業療法士、理学療法士、言語聴覚士 等

【看護師（特養）】

- ・正看護師・准看護師

<連絡先>

0135-65-2255（担当：高橋）



敬老の日

今年度も施設全体での催しは中止となり、ユニット内でお祝いをしました。泊村からの敬老祝い品の対象者は、米寿6名、百寿3名でした。養護では、米寿の2名に泊村からのお祝状と、記念品が高橋施設長より手渡され受け取った利用者は緊張しながらも、嬉しそうにされていました。おだやかユニットでは百寿の利用者2名に泊村からのお祝状と、内閣総理大臣からのお祝状と記念品の銀杯が手渡され、お昼に出された「敬老の日のお祝膳」をユニットで食べました。

また、すこやか・なごやかユニットでは、米寿6名、百寿1名と対象者の人数が1番多く、職員が作ったデコレーションケーキでお祝いのお茶会を開催しました。「美味しくってあっという間になくなった」と笑顔で食べる利用者を見て「作ってよかった」と職員も嬉しそうでした。いつまでも笑顔で元気に過ごしてください。



心を込めておはぎ作り

今年のお彼岸も職員と利用者でおはぎを作りました。もち米を丸めて、お好みの味付けで作ったつぶあんや練あんで包みました。ユニットによって、あんの種類や味、おはぎの形や硬さの好みも違い、それぞれの個性が出ていました。出来上

がったおはぎを食べてほっと一息。「たまに和菓子を食べ、お茶を飲んでゆっくりするのもいいね」と会話を楽しみながらのゆったりとしたティータイムを過ごしました。



久しぶりの合同行事に笑顔溢れる

「今年もお祭りが無いのは寂しくありませんか？」の一言で、利用者はもちろん職員も全員参加でさわやか・おだやかユニット合同の夏祭りを8月下旬に開催する事が決定しました。利用者楽しく過ごして頂きたいと思い、会場を露店風にして、焼きそば、焼き鳥、たこ焼き、綿あめ、かき氷等が並びました。ユニット内に美味しい匂いや、音がする中での食事に、「美味しい」「まだある？」と楽しそうに食べられていました。余興のカラオケ

を誘っても「歌わないや」と話されている方もいましたが、曲が流れるとつられて歌う方もたくさんいました。ビンゴ大会では、番号が出ると「無いや〜」「今、何番？」「あった！」など景品を前についつい真剣になる利用者もいました。夏祭りが終わると「楽しかった」「ありがとう」と言って頂き、たくさん笑顔もみられたので開催してよかったなど、職員も嬉しい気持ちになりました。



実践する職員と指導する職員



感染症を拡大させない為に

感染症予防・対策委員会主催の、ノロウイルス対策の吐物処理研修を全職員対象で実施しました。吐物処理の動画を視聴後、処理方法が変わった部分もあり、手順の再確認をしながら行いました。今回の研修は、万が一の時その場に居る誰もが速やかに対

応・処理できるよう開催され、今回実技がきなかった職員も日を改めて行う予定です。この様な研修を定期的に行う事で、手順の再確認などができ、感染予防に繋がっています。



★面会等についてのお願い★



←受付前に非接触検温機設置しました。

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言は解除されましたが、当施設では引き続き緊急時を除く入居者様への面会並びに外出・外泊を禁止とさせていただきます。ご家族の皆様には何かとご心

配並びにご心労をおかけしておりますが、むつみ荘としましては、「警戒ステージ1」になるまでは引き続き通常通りの面会を行わない旨決定致しましたので、ご不便をおかけいたしますがご理解ご協力を宜しくお願いいたします。

施設長雑感

北海道では、短い夏が終わりを告げ、心地よい風が吹く中、本格的な“収穫の秋”の到来を実感する日が続いております。先月9月15日から21日まで間は“敬老週間”であり、各地で敬老会などの祈念行事が行われました。本施設におきましても、コロナ禍により「施設全体で盛大に」とはいきませんでした。各ユニットでお祝いの会を開催するなどして、利用者様の末永い健康長寿を祈念するとともに、今年度100歳を迎える方3名、88歳の米寿を迎える方6名に賞状並びに祝品が、また、泊村在住の方に敬老祝金が贈呈されるなど、盛況のうちに終わることができました。また、22日には“お彼岸”を迎えるにあたり、利用者様と職員が協力し“おはぎづくり”を行い、食を通じて利用者様に季節感を実感してもらうことができました。なお、本施設では、今後も“お寿司”や“新蕎麦”など、季節感溢れる食事の提供をさせていただくこととしております。

さて、先月号でもご紹介しましたが本施設では8月からリモートでの面会を始めました。現在、面会等の自粛をお願いしているところではありますが、利用者様のお姿などがご確認できる貴重な機会として、有効活用していただければ幸いと存じます。面会の予約は随時受付中です。終わりに、昨今、新型コロナウイルス感染症の感染者は減少傾向であり、“緊急事態宣言”が解除される日も近いのではと思われませんが、一方ではワクチン接種後の感染（ブレイクスルー感染）も報告されておりますことから、本施設では引き続き予防対策に万全を期し、業務を遂行する所存でございます。利用者様・ご家族及び関係機関の皆様におかれましては、今後とも、ご理解・ご協力並びにご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



泊村老人ホームむつみ荘
施設長 高橋 英俊

ありがとうございました

9月14日、日本高圧・吉本・ドーピー特定建設工事合同企業様様の御厚意で、施設周辺の倒木の撤去等により綺麗になりました。作業していただいた皆様にお礼申し上げます。

